



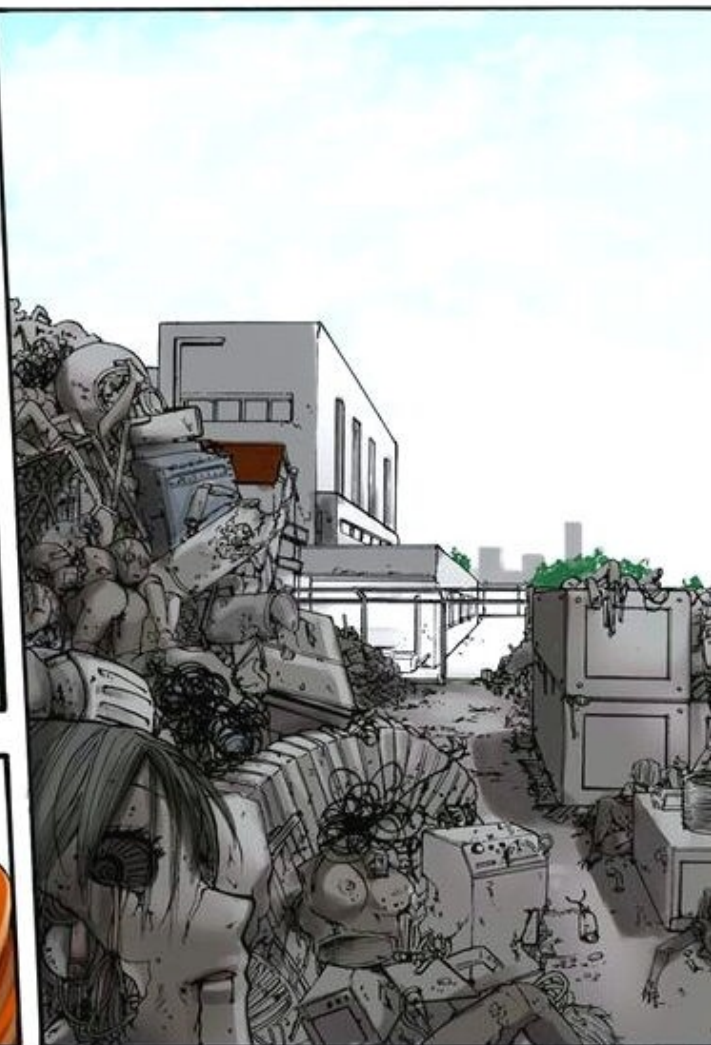
ワッィガ
♡や♡う♡せ♡で♡
♡あ♡げ♡る♡♡

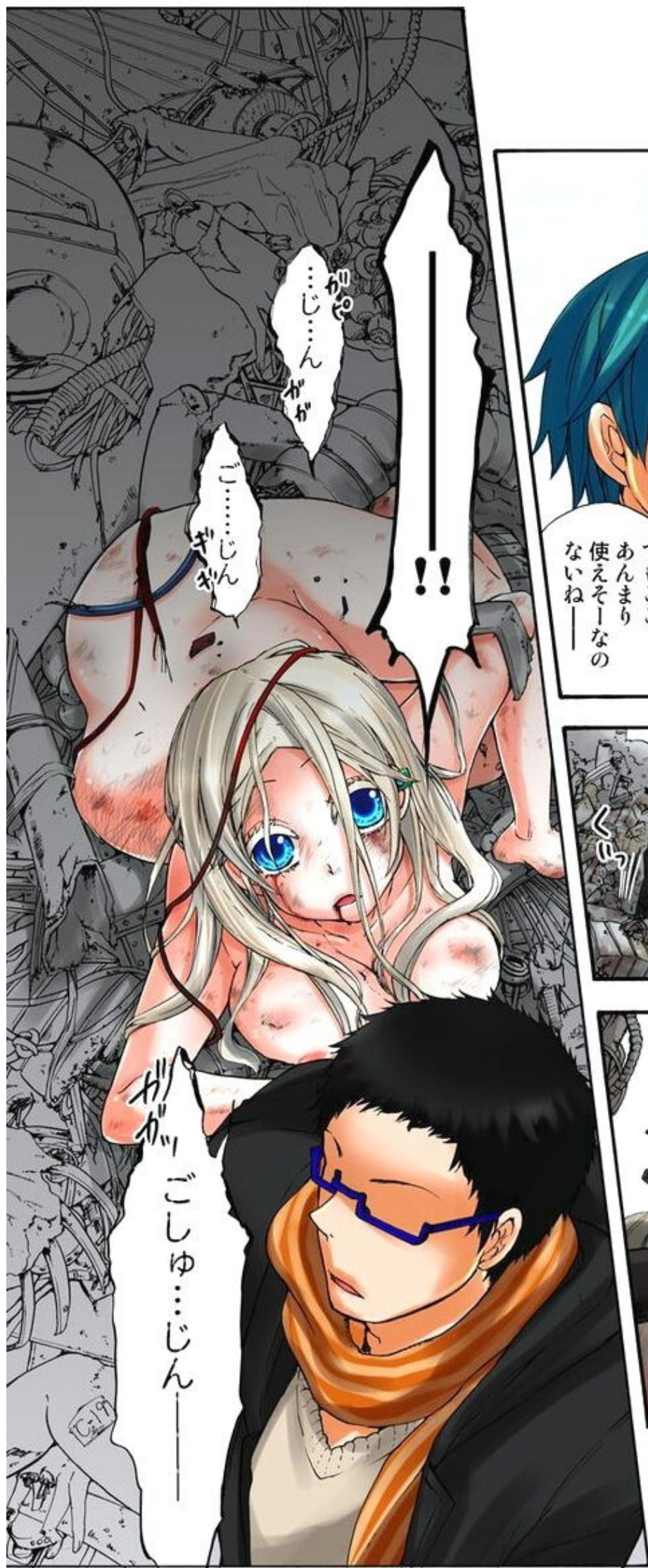
佐藤紗緒理

リリィガ
ヤラせて
あげる♡

佐藤沙緒理









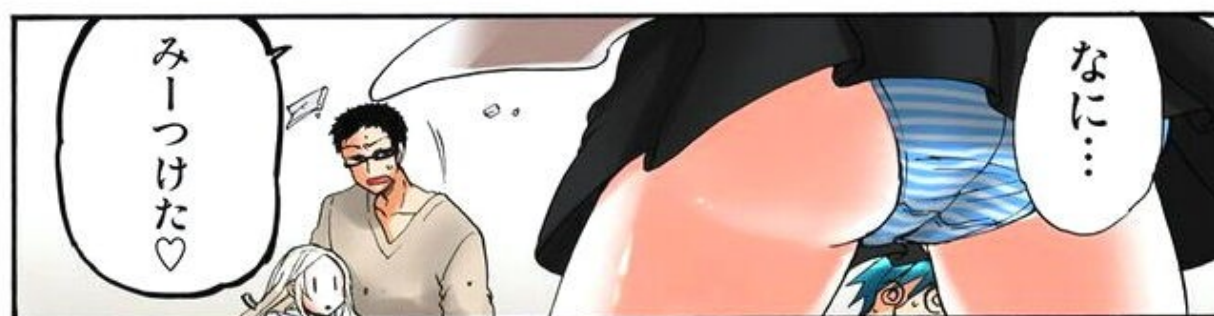
























この程度で
すむと思わない
でね

回路焼き切れ
るまで
ぐちゃぐちゃに
してあげる

う

あ

どうせ
スクラップに
されちゃうん
だから

こいつも
ロボット
かばうから
こんな目に
あうんだよ

あう
あ

やだあ…

いたがつてるっ
やめて
やってくれ

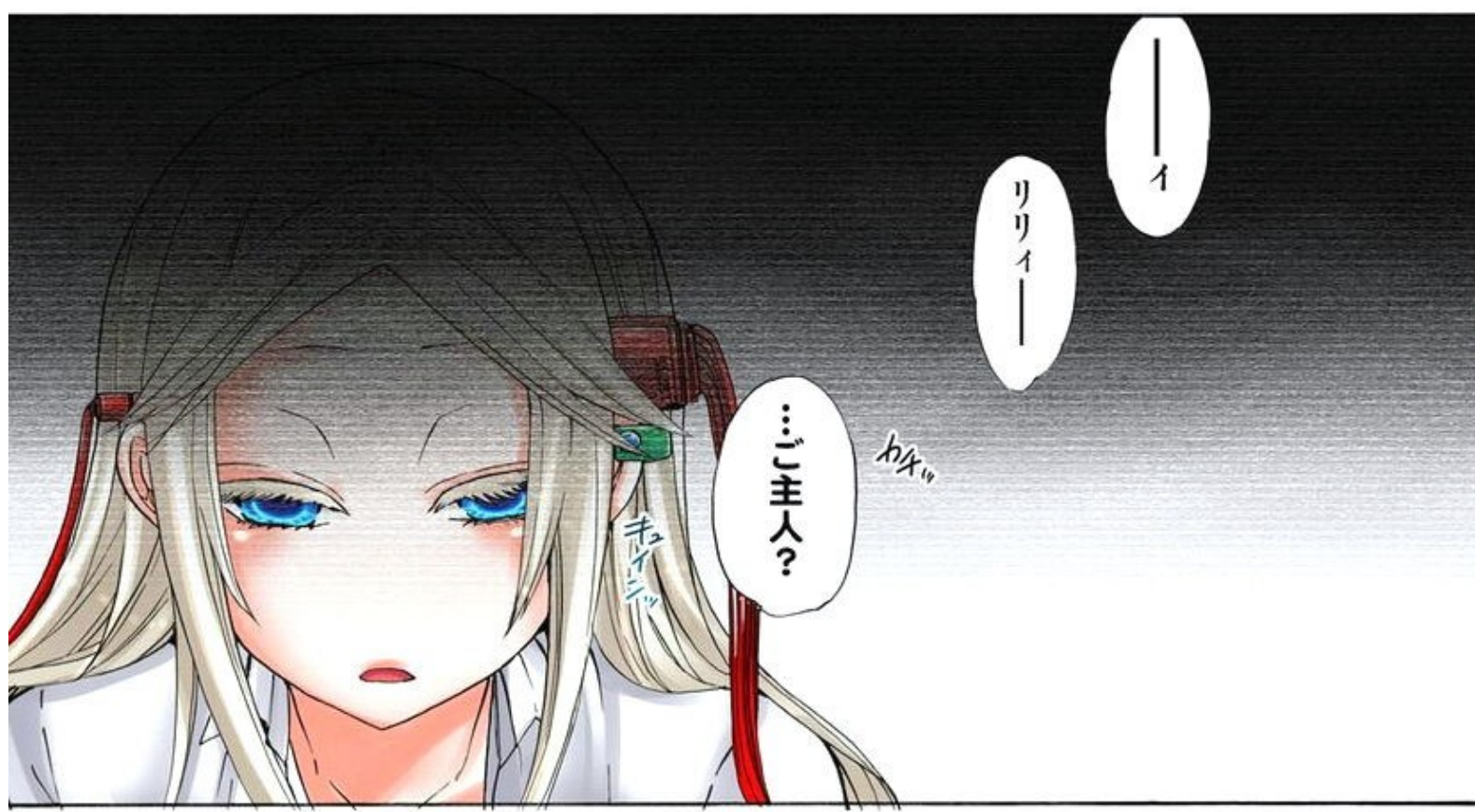
ハア？

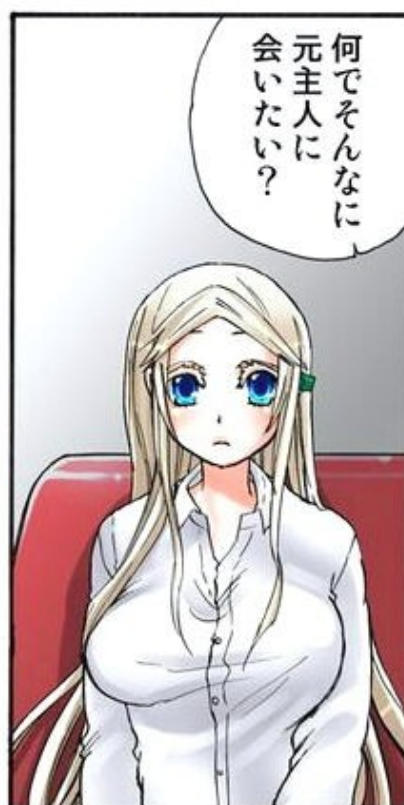
だったら君が
気もちよくして
あげれば？

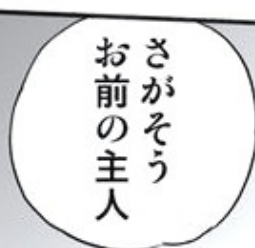
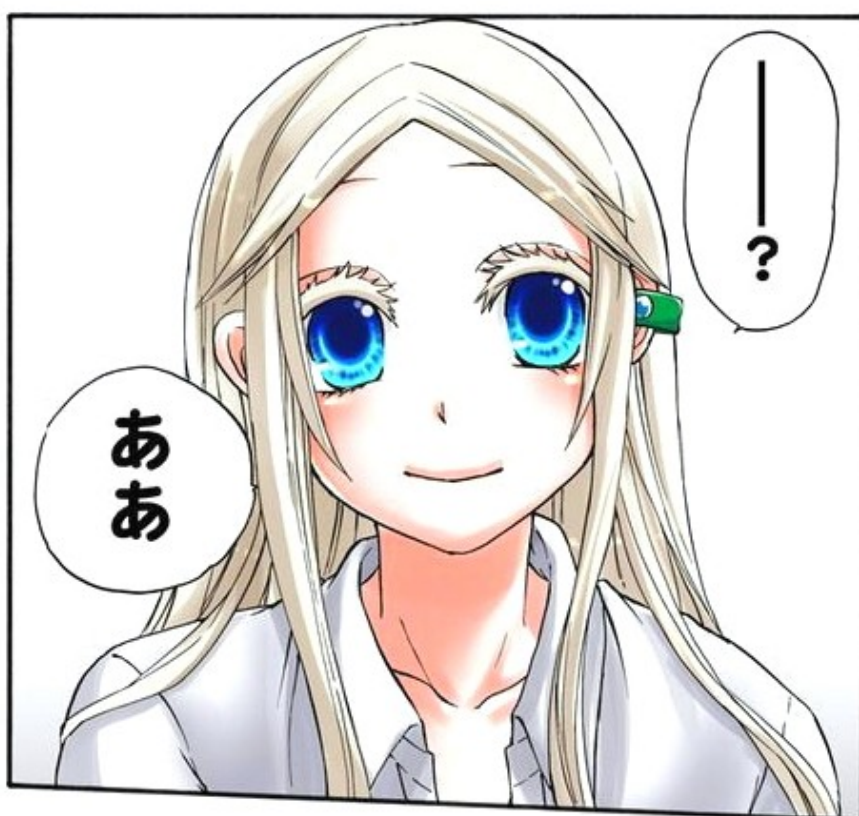
うあ

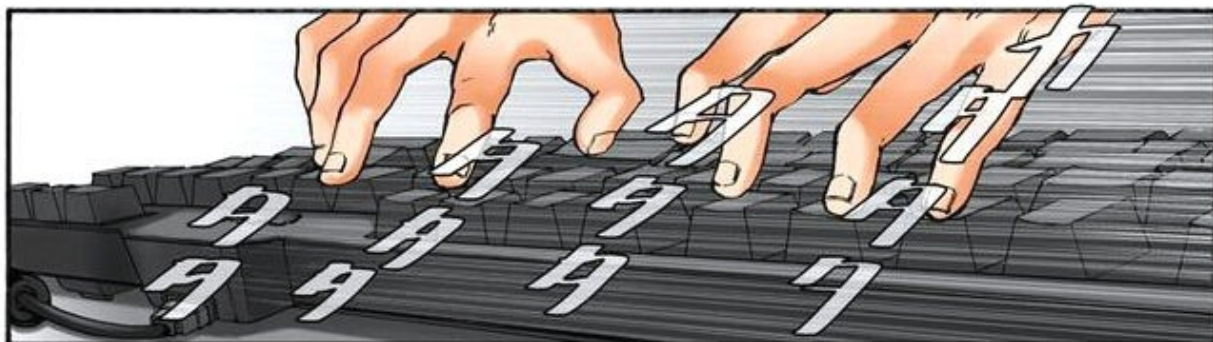
ほらっ

あ
あ
あ…















人ともめると
ぼくが上から
おこられるのに

会わせ
たいんだ

はあ？

こいつを
主人に

何で

もしかしたら
何か事情が
あったのかも
しれない

ぼくらはロボット
なんだよ!!

人があきたら
捨てられる
そうゆうモノ
なんだ

それでも

それを知る
権利ぐらい
あるだろう

だから

何言ってるの

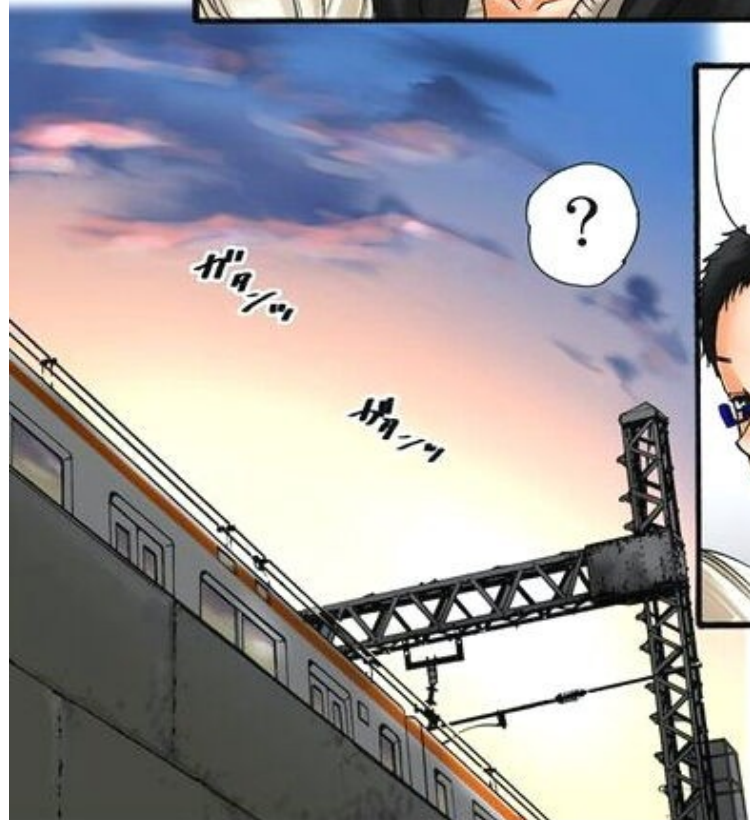




ぽっ















なのになに
で笑う

あんな目に
あつて

でも

あいつは他の
ロボットと一緒に



——じゃあ



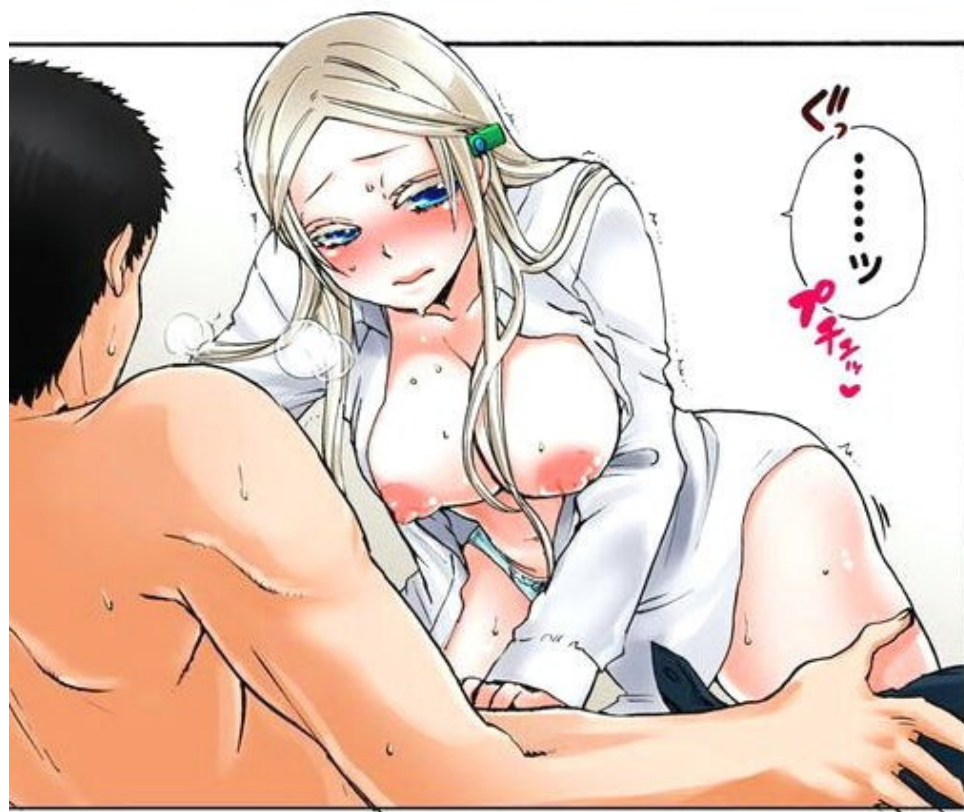
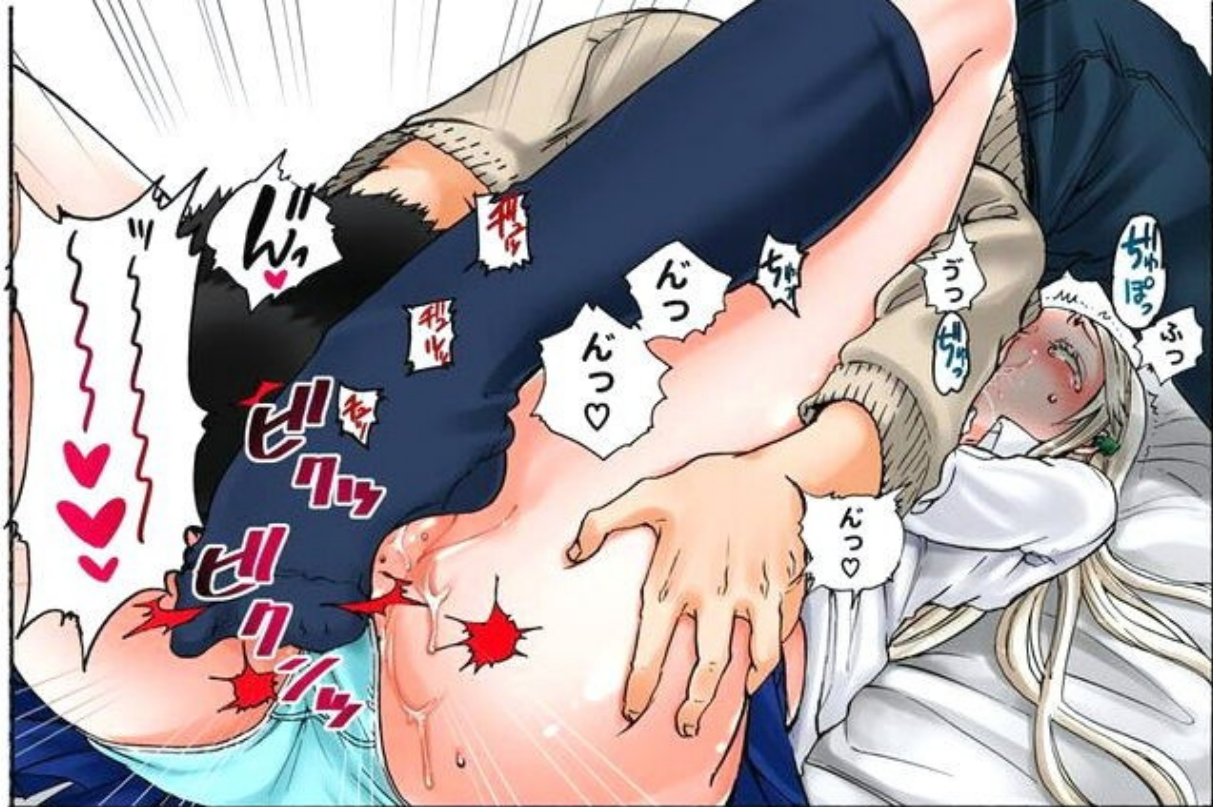
……
リリイは
ご主人が
幸せなら
幸せだから



お前
自身は——













ありがとう…

ほらっ
とつとつ
そのボンコツ
渡してよっ

…返して
もらえた
のか？
もらったよ！
さんさん遊ば
れてね！！

たのしかった
ねー♡

オレは

一人が寂しいと
思ったことは
ない

けど

ほら早く
行くよっ！

おう

リリイ

お前が
寂しいのは
たえられない



おい？

リリイも



たえられない

で



要はあいつが
新しい主人に
なるってこと？

え？
できるの？

届出だして
今回のこと
バレなきゃ
だけど…



…
特別
だからね

あ
デレた

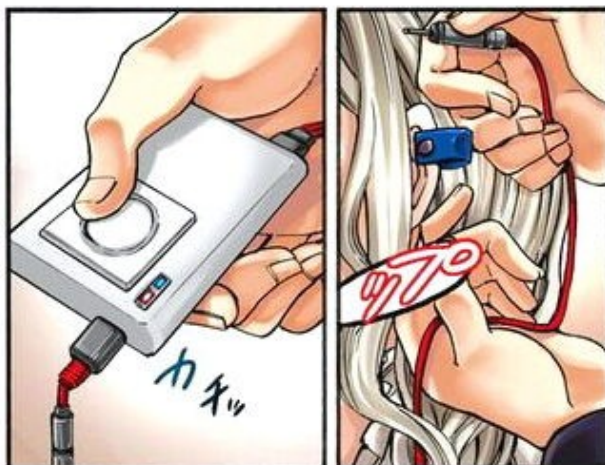
デレー

うるさい
よっ



リリィガ
ヤラせてあげる♡

佐藤沙緒理







以来私は人の
少なくなつた
お屋敷で

お嬢様の
お世話をさせて
頂いております

今日のご予定
は如何致し
ますか？

セック

以外で



給料は一生分
振り込んで
おいたから…
娘…リリイを
…

え!?

ご主人—!!

ご臨終。



虫が…

みまん

う



あ

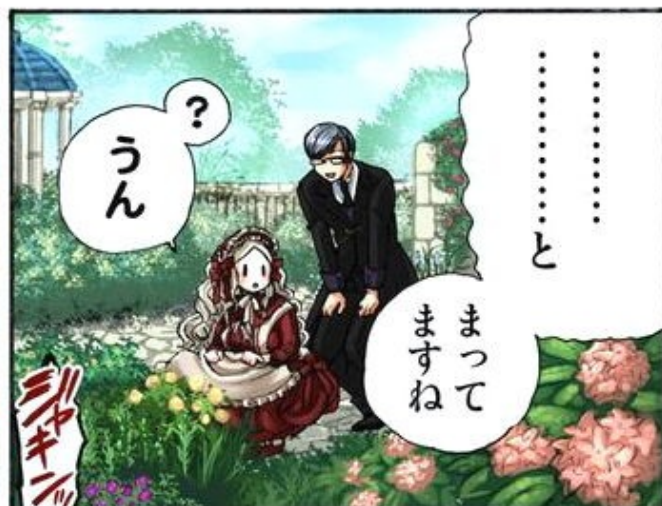


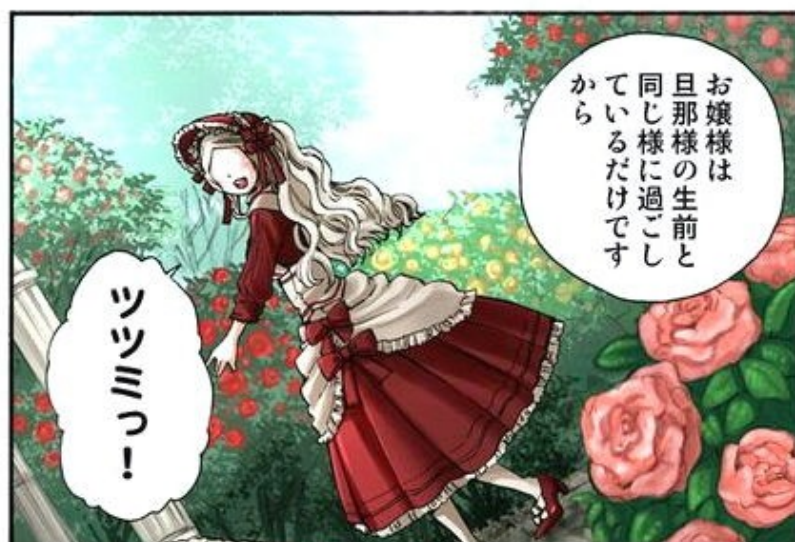
お嬢様は毎日
好きなことをして
過ごします



あまり
近付くと
汚れますよ

お!…





お嬢様は
旦那様の生前と
同じ様に過ごし
ているだけです
から

ツツツッ！



そうですね

あんたも
大変だろ
一日中相手
をして

いえ……



そう



どうかなさ
い
ましたか？

花いっぱい
咲いてる
ご主人に持
つて
行っちゃダ
メか？



じゃあ何本
か
切って差し
上げ
ますよ

本当か！

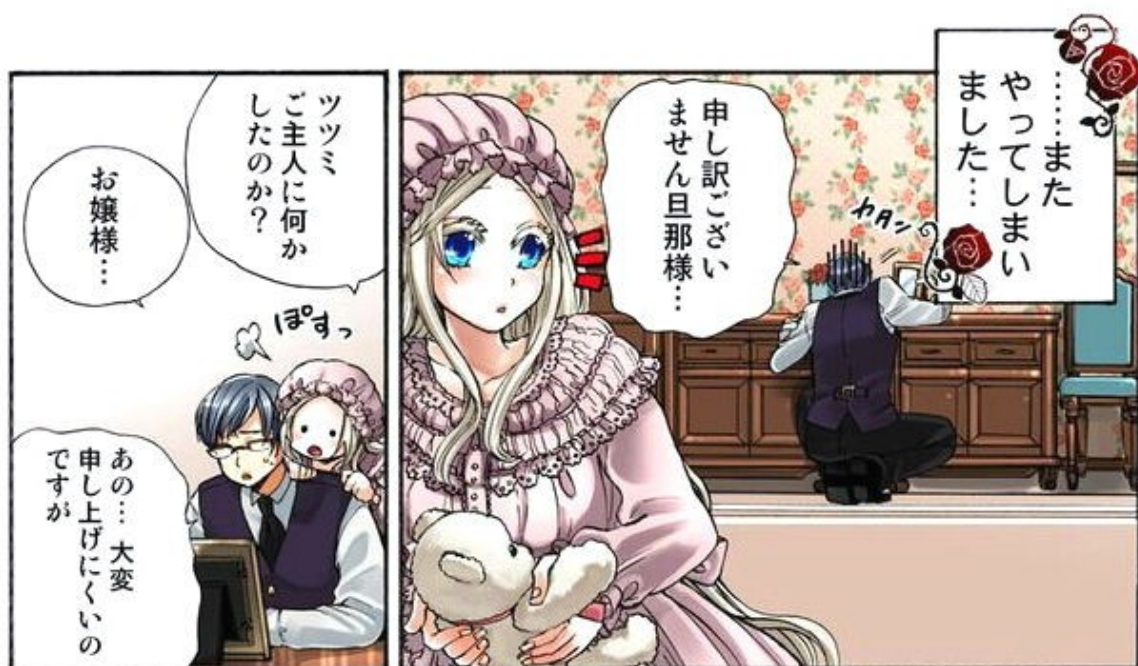


お嬢様

……

彼女は旦那様との
思ひ出を反芻して
いるにすぎない









ワリィガ
♡♡せて
やらあげる♡

佐藤沙緒理















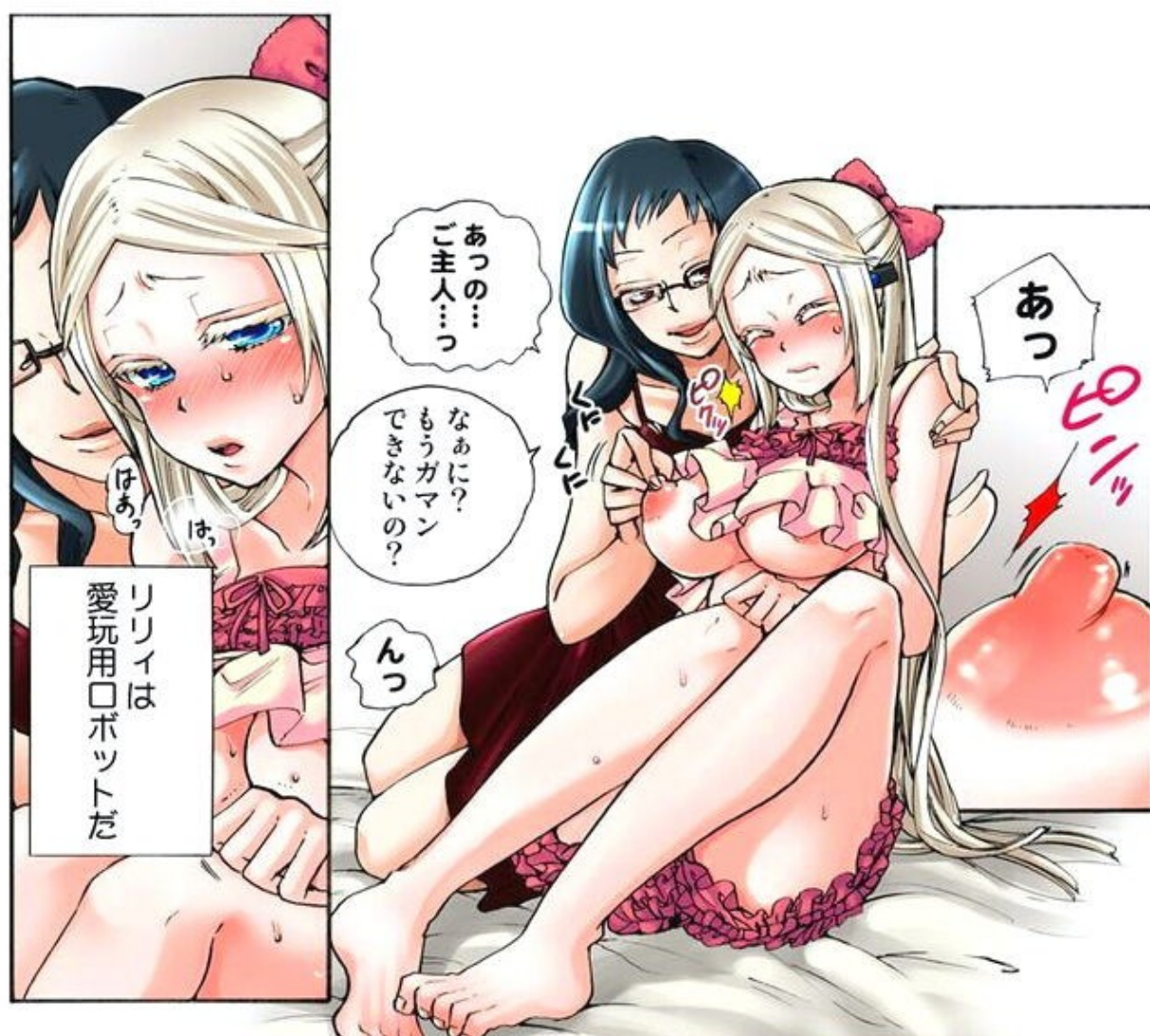






ワッィガ
やらせてあげる♡

佐藤沙緒理



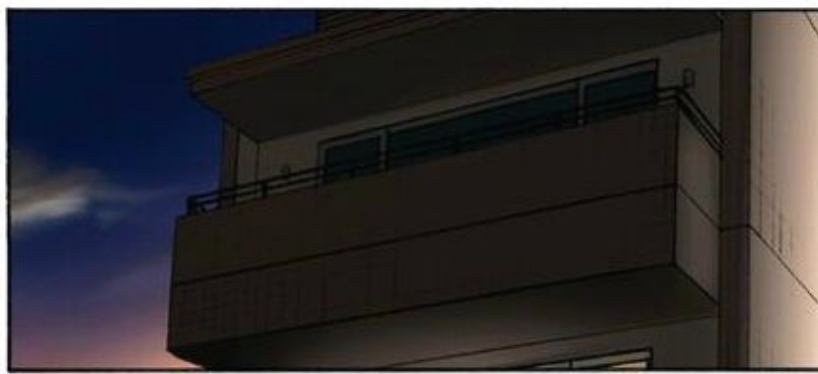






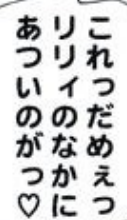
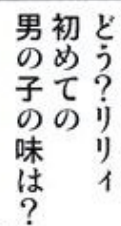
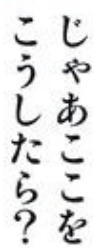
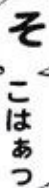
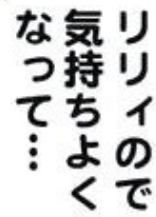


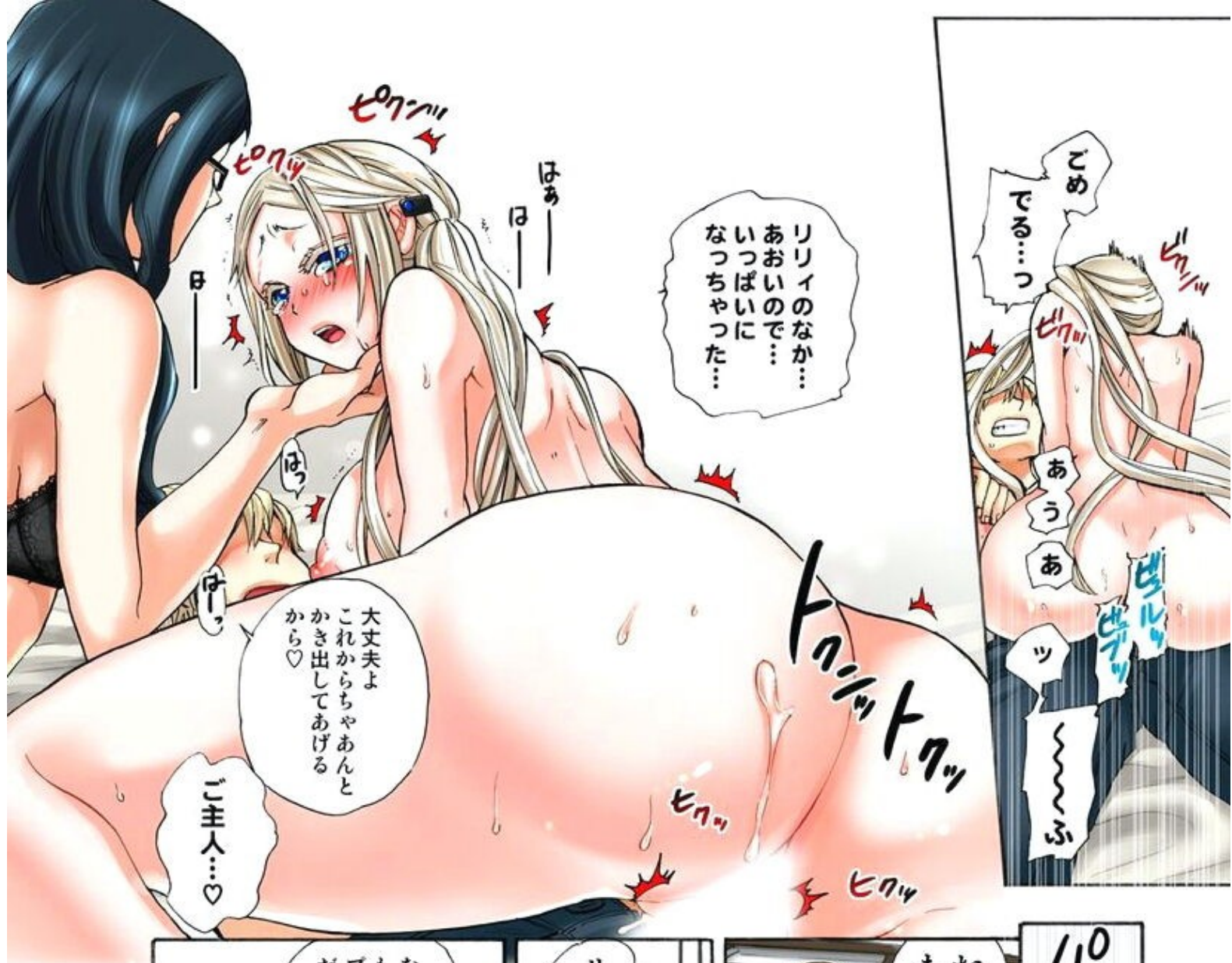




うん
知ってるわ



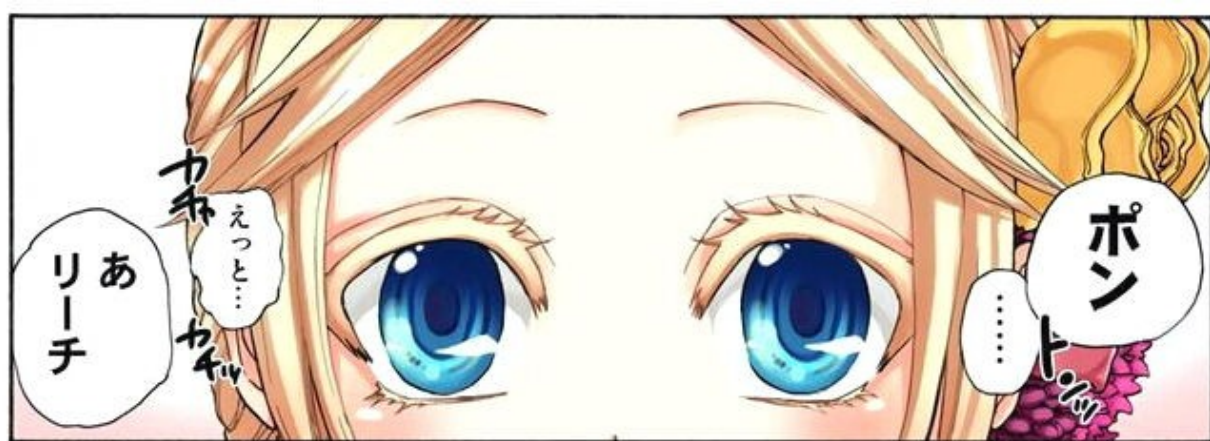






ワッィガ
♡♡せで
やう♡あげる♡

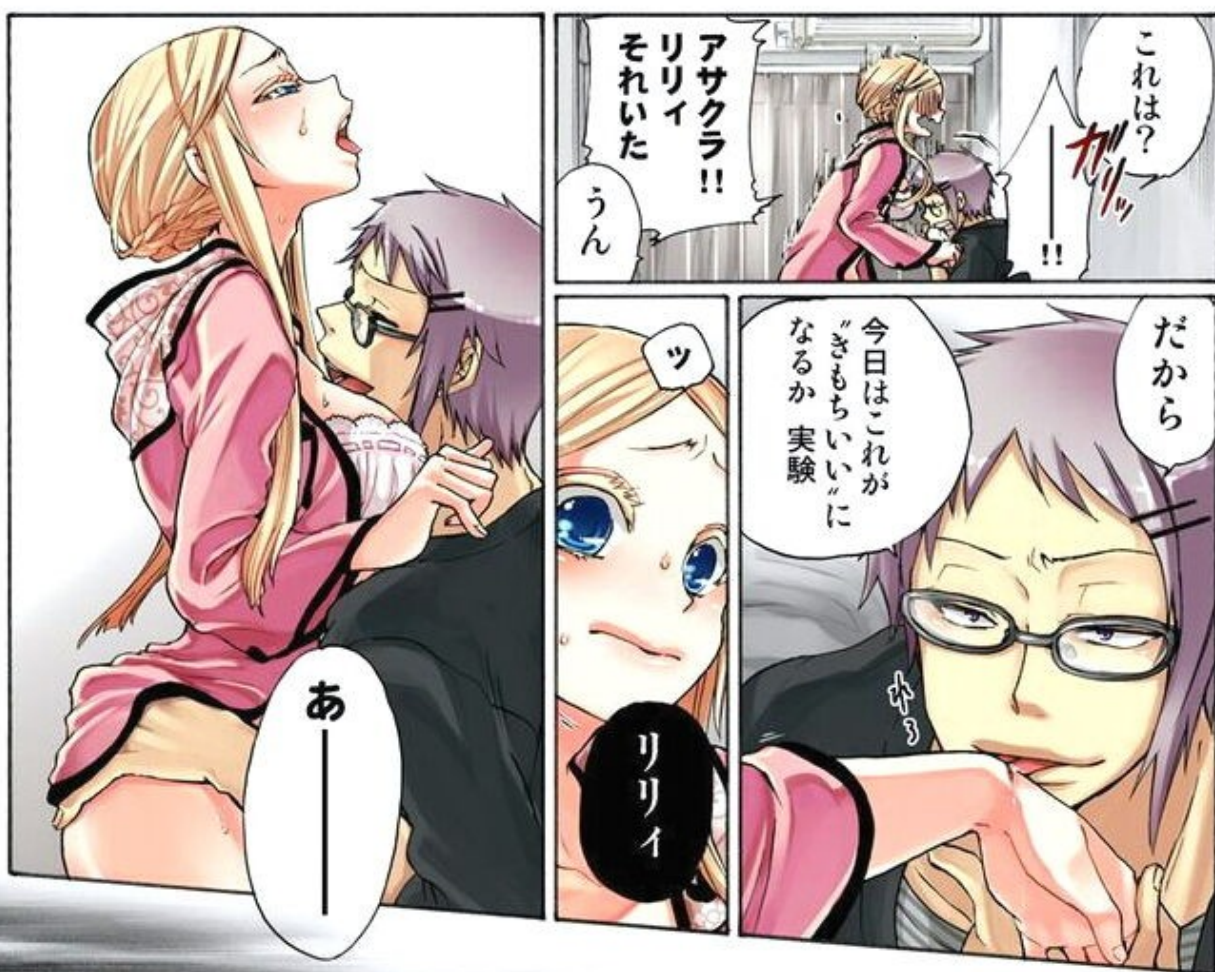
佐藤沙緒理





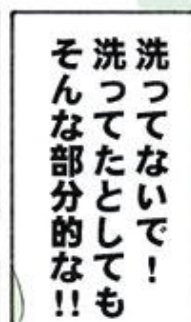






















今でも
そいつの
こと好き?



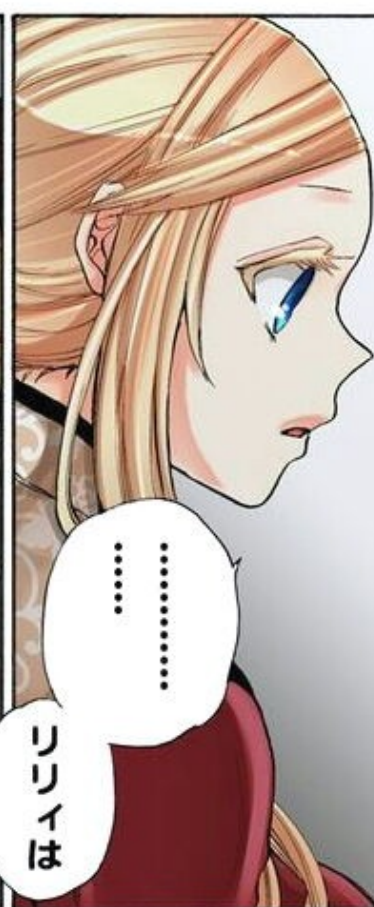
4人も

みんな
好きだ



みんな
好き

もうご主人
じゃない
ご主人も



.....

リリイは



え



どう?
どう?
した?

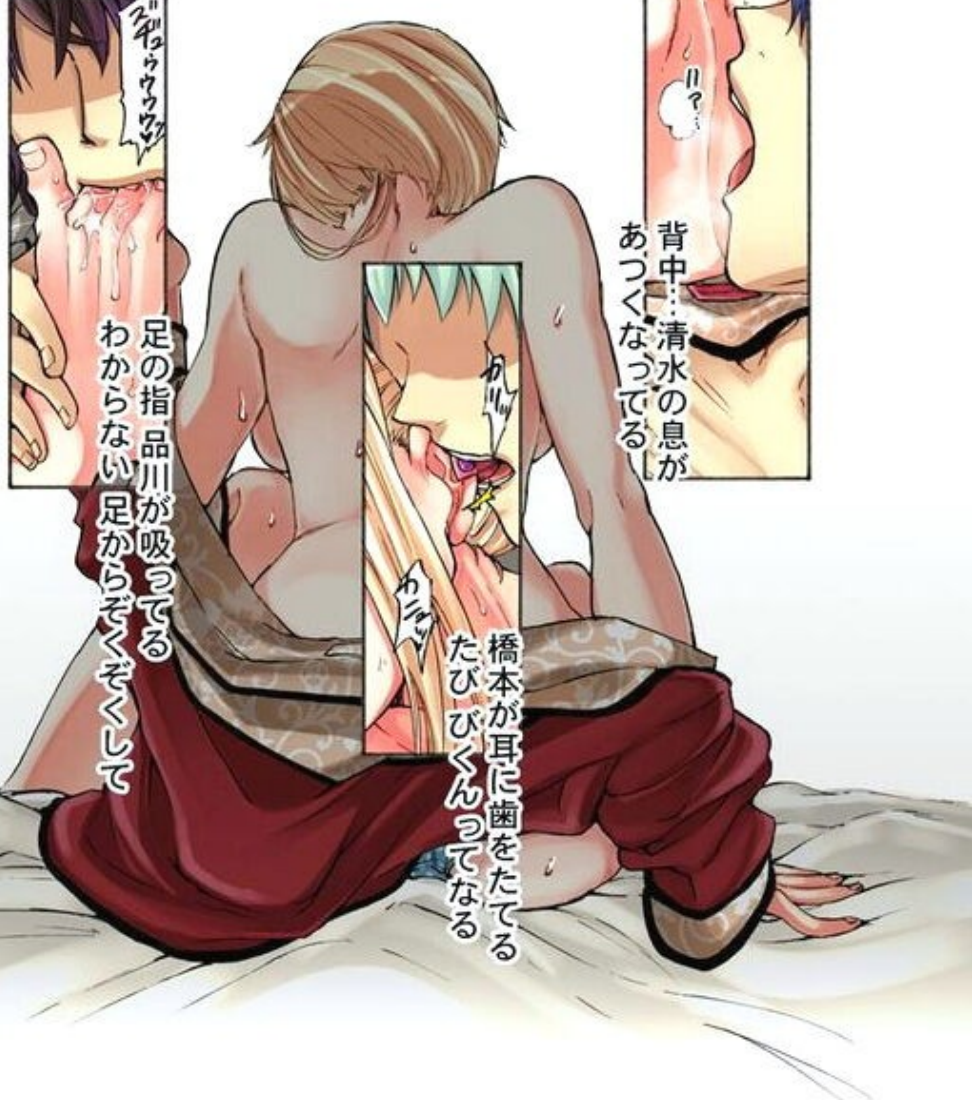
.....







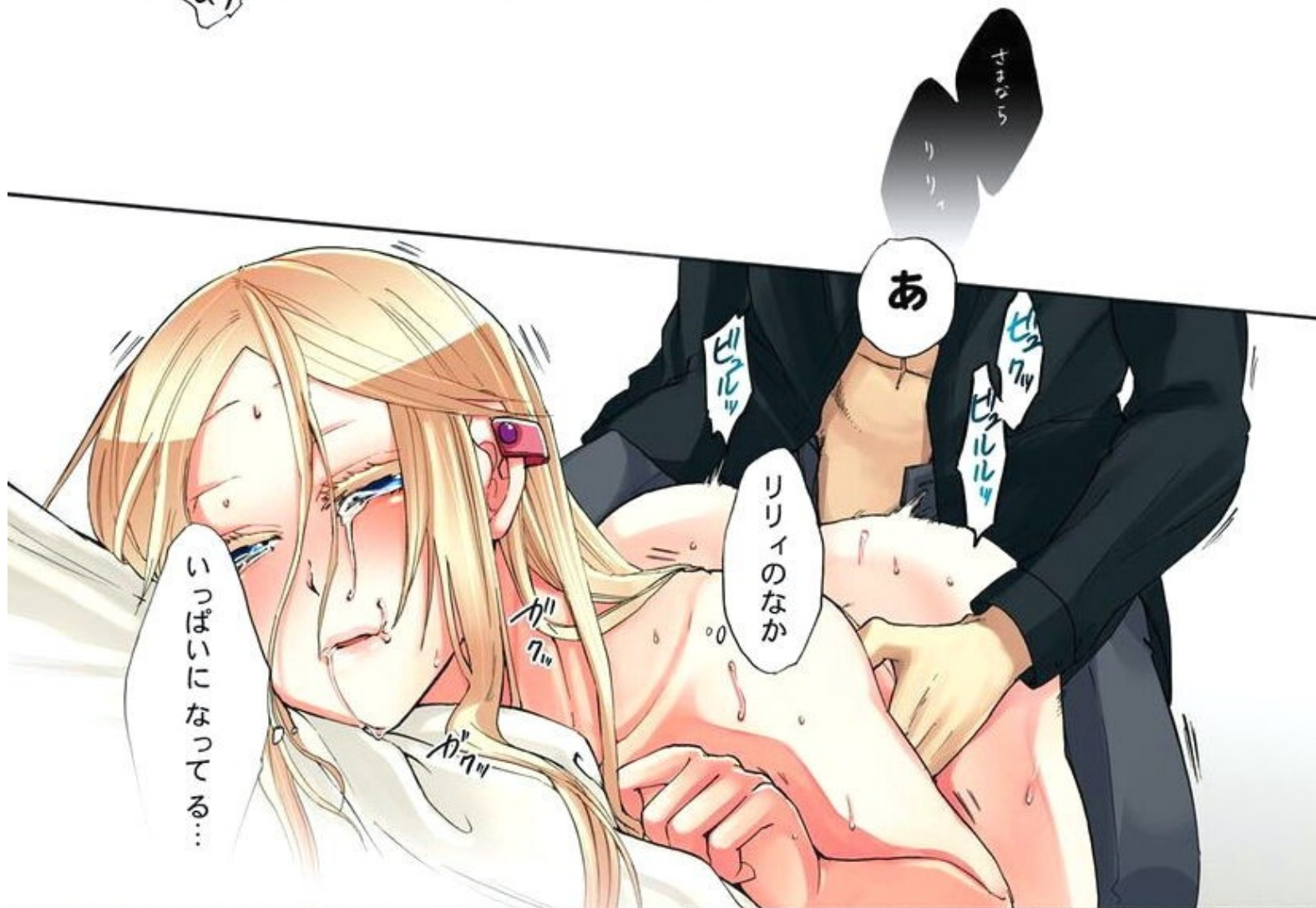
足の指品川が吸ってる
わからない足からぞくぞくして













END

END